常磐毎日新聞
日刊
三月十三日夕刊
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

天氣豫報
今晩は北西風
明日も北西の晴一時曇

もみ抜かれた報告書 遂に滿場一致を見ず

夜に入る迄大紛糾の平市會

磐炭の採掘願も委員に附託

金古委員は辭任

既報平市會は昨十二日午後二時から開會劈頭豫算委員長松本德一氏登壇、過日の豫算案總括質問に際し川崎議員が『平市よ何處へ行く』と叫んだが吾々は豫算委員會に於て逐條審議の結果一層その感を深め市當局の御一考を煩すや切なるものあるを知つた』と前提し豫算委員會の經過を說明し、他市との振り合ひ上市長給料四百圓、小學校雜給百圓、警防團、消防部員の賞與七十五圓等を各增額し總額四十五萬三千五百七十六圓と修正

滿場一致修正意見を可決續いて決算委員長矢吹龜作氏は

決算を詳細點檢したが何等の誤りなく是れを全部正當と認む

と報告、次いで工業學校設置の前提手續きとして知事の諮問に依る現在の第五小學校敷地指定の取消しを異議なく決定、引續き愈々去る七日の市會で保留となつた東京市杉野周吉氏出願に係る地下採堀問題の調査委員の報告書再審議に入り蓮沼議員は

平窪地內に保償條件を附せしむべく杉野氏を招致して一應交涉の上諾否を決しても遲くはあるまいと意見を述べ野崎議長は金古議員から委員辭任の屆出があるとて是れを議場に諮つたが、その理由とする處は

試堀調査委員として調査に長期間を要したるに拘らず不徹底の憾あるを痛感し責任上自決する

といふにあつて永山議員は不徹底な調査に就いては金古委員一人の責任にあらず、他の委員も切腹ものではないかと迫り荒川委員長其他委員は報告書の決定を見る迄終始熱心な態度で事に當つて來たのであるから今更ら辭任の要はないと述べ、川崎議員は

「不徹底の憾み」とは調査の粗漏を指すものか或ひは本會議に於いて委員が質問に答へずし場に調査結果が徹底しない意味であるのか此點金古議員欠席の爲め其の心境を聽く事が出來ない、若し前者とすれば委員連帶の責任ありまた後者の理由に基けば此の議場で審議を盡せばよいのであるから前回の本會議に於て保留された委員會の報告書の內容を充分に說明ありたい

と委員側の答辯を促し一旦休憩の上、多田井、矢吹(龜)兩議員が委員長に代つて調査の方法を始めとし採堀地を踏査した結果は陷沒、龜裂等の被害に依る人家や山林田畑の慘狀を目擊した實況を述べ鑛山監督局の意嚮、專門家の學說等を引用し一時間餘に及んで縷々說明したが永山議員や川崎議員は被害を確信する委員會が平窪地內の採堀を支障なしとする矛盾した報告書の欠陷を指摘して肉迫する矢先吉田(五)議員が突然質問打切りの動機を提出、委員の一人である松本議員は報告書を多數決とせず滿場一致で通過させたいから採決を次回に延したいと述べ矢吹(龜)議員贊成、關內議員は吉田君の動議をどう處置すると迫り議事進行に關し甲論乙駁宵闇のたれ込めた議場全く騷然と化す中に獨りストーブの火のみ鳴りを鎭めて底冷えの冷風一陣サツとばかりに場內を襲ふ、此の時野崎議長は質問打切りの動議を採決に附し遂に十三對十一で動議は成立、委員會報告書は二讀會に移つて山野邊議員其他から二三の修正意見續出した爲め報告書は散々に揉み拔かれて採決に入り、遂に滿場一致に至らず十四對十の多數決に依り

平窪地內は差支へない

が小川江筋と舊平町の地下はいけない

といふ平窪方面を繼子扱ひにした片手落ちな委員會の報告書を可決續いて磐城炭礦の採堀願に對する答申案を議に附し川崎議員と菅沼市長との間に應答あり一先づ休憩、再會は松本議員の動議に依り議長指名に依る九名の調査委員に附託すべく決定、野崎議長から委員を

大谷武雄　髙橋龜松　山野邊義政　鈴木庫左右　多田井笑次郎　鈴木彌太郎　吉田五平　吉田寅之助　大嶺庫

と指名し次いで警防團員增加の知事諮問は蓮沼議員の動議に依つて議長指名で左記の如く決定

川崎文治　金古政通　關內正一　吉村安次郎　藤田榮助

斯くて地下採堀を中心に雲行き甚だ急を呈した平市會は近來に見ない長時間の論戰を演じ午後七時十分散會した

青少年雇入制限令に就て

平職業紹介所長　立澤高元

【七】

以上によつてその大要は盡した積りであるが、御疑問の點があれば職業紹介所を訪れて頂き度く御納得の行く迄、充分御說明を申上げ屆出の形式や其他の書類等も御覽に入れたいと思つて居る、尙制限令は一應知つて置く必要があるので御參考迄に左の如く附記して置く

第一條　青少年の國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號に於て依る場合を含む以下同じ)第六條の規定に基く雇入制限は別段の規定ある場合を除くの外本令の定むる所に依る

第二條　本令に於て青少年と稱するは年齡十二年以上三十年未滿の男子又は年齡十二年以上二十年未滿の女子にして左の各號の一に該當せざるものを謂ふ

一　大學、大學豫科、高等學校高等科、專門學校、高等師範學校、師範學校、實業專門學校、師範學校又は厚生大臣の指定する學校(養成所を含む)を卒業又は修了したる者　二　學校卒業者使用制限令第一條の卒業者にして前號に該當せざるもの　三　厚生大臣の指定する檢定若は試驗に合格したる者又は厚生大臣の指定する免許を受けたる者　四　其の他厚生大臣の指定する者

第三條　男子たる青少年(以下男子青少年と稱す)は左の各號の一に該當する場合を除くの外之を雇入るることを得す

一　男子青少年の雇傭員數が命令を以て定むる員數に滿たざる場合に於て其の員數に滿つる迄之を雇入るる場合　二　厚生大臣の指定する事業を營む者其の事業に使用すべき男子青少年の雇入に付命令の定むる所に依り地方長官の認可を受けたる場合　三　男子青少年を雇傭し得べき總員數に付命令の定むる所に依り職業紹介所長の認可を受けたる場合に於て其の員數に滿つる迄之を雇入るる場合　四　入營(應召の場合を含む以下同じ)を命ぜられたる青少年を解雇したる場合又は雇傭する青少年の入營中雇傭期間の滿了したる場合に於て其の青少年が退營(入營の際行ふ身體檢査の結果歸鄕を命ぜられたる場合を含む)したる日より三月以內に再び之を雇入るる場合　五　其の他命令を以て定むる場合

第四條　女子たる青少年(以下女子青少年と稱す)は左の各號の一に該當する場合を除くの外厚生大臣の指定する業務(以下指定業務と稱す)に使用する爲之を雇入るることを得す

一　指定業務に使用する女子青少年の雇傭員數が命令を以て定むる員數に滿たざる場合に於て其し員數に滿つる迄之を雇入るる場合　二　指定業務に使用する女子青少年を雇傭し得べき總員數に付命令の定むる所に依り職業紹介所長の認可を受けたる場合に於て其の員數に滿つる迄之を雇入るる場合　三　其の他命令を以て定むる場合

第五條　地方長官第三條第二號の認可の申請に付不正又は虛僞の事實ありと認むるときは認可を取消すことを得　職業紹介所長第三條第三號又は前條第二號の認可の申請に付不正又は虛僞の事實ありと認むるときは認可したる員數を減少し又は認可を取消すことを得

警防團競技 期日が決定

既報縣下三百七十餘名の警防團長會議は花の四月平市で開かれることになつたがこれが期日は十五日から三日間と決定された

十五日は平商業學校グランウンドで陸上競技大會、十六日は市公會堂で會議を開き十七日は平商校庭で聯合檢閱を行ふ

小名濱校 上棟式

再建築の小名濱第二校々舍上棟式は二十四五日頃行ふ豫定

小名濱支局通信局 中支派遣軍藤川君の書信

支局長　小野務平

一昨年夏重大任務を帶び中支〇〇方面に活躍屢々戰功を樹て武運愈々豊かに將兵殲滅戰に參加して居る本町出身藤川一郎君から中支方面の狀況を書いて寄せ來たので左に掲ぐる事にした、

謹啓貴局益々御清昌の程を喜んで居ります小生無事御蔭樣にて元氣橫溢軍務に服し居ります御放念下さい。

過日は御丁寧なる鄕土の皆さんが誠意を深めたる慰問號常磐毎日新聞御贈下さいまして躍進途上にある鄕土の狀況や銃後に立つ皆々樣の御活動の樣子を拜見致しまして唯々感激に打たるゝ外はありません厚く御禮申上げます

中支は全く平和です分けても武漢の復興目覺しく感じられます、この平和の爲には幾多の勇士が護國の鬼となりし先輩や同僚の爲であると感謝して居ります。

思ひば過ぎにし日萬歲聲裡に〇〇丸が埠頭を離れたる時何とも言へぬ感じに打たれ、男子の本懷之れに過ぎずと覺悟して大陸に一歩を踏み入れし時、目に觸れ耳にするものは戰場の跡で緊張を覺へました。

嚴肅なる裡にも溫情溢るる上官殿の訓話派遣されたる名譽と責任の重大さを目覺めました、「敷島の大和心を人とはば」其歌の底に流るゝ武道の精華、祖國を愛する心、吾々は日本人だ、異國に汚されたき名譽ある皇國の民だ、而も名譽ある國家の干城だ、と心に叫んだ時体內に流るゝ血潮大和民族のみが知る祖國愛だ、大陸を踏み初めて覺醒された、祖父傳來の血潮、これこそ海行かば水漬く屍、山行かば草蒸す屍と命を鴻毛の輕きと祖國の大君の御爲めと、東亞永遠の平和の爲めに殉ずる大和魂、何で生命が惜からう。寧ろ死が本望です。

此上からは至誠一貫我が帝國の名を汚し又鄕土の名を汚す樣な事は斷じて致さぬ覺悟です。

以上申上げました上に中支方面は風土や氣候は內地と大差なく寒暖などは內地より暖いです云々

昭和十五年二月十九日　藤川一郎

常磐毎日新聞
小名濱支局長殿

以上であつて、この元氣ある烈々たる覺悟は筆端の進むに依つて火を吐いて居る、此等の勇士が團結して四百餘州を馬蹄にかける共勇氣や感激に堪へない吾人は出征將士の武運長久を祈るのみである。(完)

軍國の母 玉川村表彰

玉川村國防婦人會では十八日午前十時から小學校で總會を開くが從員改選後軍國の母を表彰終つて出征將士遺家族の慰安會を催す由

種馬配合 管內を決定

石城產馬畜產組合管內の種馬配合決定は今十三日から明十四日にかけ福島種馬所員宮城氏によつて行はれる

水產卒業式

小名濱水產講習所の卒業式は二十三日午前九時から擧行される

炭素工場 操業を開始

既報資本金百萬圓で錦村に建設中の活性炭素製造工場は四月から操業を開始する筈だが初代工場長には髙橋保氏、取締役技師長には勝木壽一氏と決定された

奉公會寄附

小名濱町字下明神町八卷儀助氏はこの程町銃後奉公會に金十圓を寄附した

老婆の 入念な雜巾

平市一丁目三九髙野テツさんはこの程第一小學校へ孫がお世話になつてゐると掃除用雜巾百枚を寄附したが六十三才の老齡に丹念して縫ひ上げたものだけに一入感激を與へてゐる、尙第二小學校へも近く同樣寄附する筈

坑內の爆傷

十一日午前十一時三十分ころ石城郡內鄕村日本採炭株式會社大竹左一坑內三百尺の地點で同村大字綴採炭夫福井藤一(三五)が爆傷のため虫の息となつてゐるのを同村三保トメ(三二)が發見直ちに同村島田病院に擔ぎ込み手當を施したが同七時遂に死亡した原因は同人が坑內でカーバイトの入替へ中傍らに置いたダイナマイトの取扱不注意のため爆發したものである

映畫館火災

觀覽者逃げ惑ふ

附近に飛火

十二日午後七時半頃勿來町常設館共樂座が映畫上映上突然發火地元並に植田其他附近町村の警防團が馳せ付け消火に盡力したが火の廻り意外に早く同館を燒拂つた上勿來製氷會社事務所其他民家四戸を全燒九時近く漸く鎭火した

原因は目下植田署で取調べ中だがフイルムに引火したものらしく觀覽者が滿員であつただけに戸外に飛び出す騷ぎに一時は大混亂を呈した、損害は二萬餘圓に達する模樣

尙罹災者は左の如くである

左官關口喜一郎　同髙橋文雄　雜貨商菊地正義　飲食店比佐正之助

常陽に着任

既報新任の常陽銀行平支店長代理川崎英夫氏は今十三日平驛着二時五十分で着任された

山口氏出向

磐女教諭山口彌一郎氏は新學期を前に岩手縣へ出向を命ぜられた

溜池地鎭祭

平市では舊平窪村方部の水田灌漑のため上平窪字鼠田地內に溜池を設置することゝなつたがこれが地鎭祭は十六日午前十一時から行はれる

吳羽次長制

錦村吳羽紡績工場では今回工場次長制を設け初代次長に製造課長木村眞一氏昇格、製造課を工務課と改め生田國雄氏が課長に就任した

保健施設費

帝國保健協會では小名濱校に三十圓、役場に二十圓を夫々衞生施設費としてこの程寄附した

平市人事

◎出生
△胡摩澤二一渡邊政壽氏二男政良君

◎婚姻
△東京市小石川區宮下一六小川留吉(三三)氏と久保町三七秋山コサ子(三三)さん

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇　子供の時間　兒童劇「爆音」仙臺市原町小學兒童
▼後六、二五　稻作講座「今年の稻作諸準備について」宮城縣農事試驗場長寺澤保房
▼後七、二〇　鄕土に寄する言葉　法學博士寺田四郎
▼後七、三〇　國民歌謠
▼後七、四〇　講演「最近の大陸物貨事情」興亞院經濟部第四課長久保文三
▼後八、〇〇　連續物語　宮本武藏(十八)御橋公
▼後八、五〇　舞臺劇　東京劇場より——西住戰車長

鄕土に寄する言葉

（午後七時廿分放送）

寺田四郎（福島縣出身）

東北人の特性としては種々ありませうが先づ堅忍持久であると言ひ得るこの特性こそ現下の時局に最も必要である、東北出身の將兵が戰陣に於て赫々たる武勳を樹てゝゐるのもこの特性があればこそである、親愛なる我が東北人よ益々この特性を養つて國家のため盡力されんことを希望して止みません。

明日の部

▼前九、四五　幼兒の時間　お話と音樂「ハルガクル」今村敏子
▲前一〇、〇〇　衞生メモ
▼前一〇、二〇　家庭の時間「聾啞者教育」東京聾啞學校長橋本綱太郎
▼後〇、〇五　ハーモニカ合奏　ミヤタハーモニカバンド編曲並指揮　官田東峰　指揮　松林和男
▼後三、〇〇　婦人の時間「日常生活と輸出品」前田梅松
▼後六、〇〇　子供の時間　ラヂオスケツチ「をぢさん〜有難う」辻町子他　伴奏東京放送管絃樂團
▼後六、二五　講演「西藏國事情」「ダライラマ第十四世を中心として」東北帝大教授多田等觀
▼後七、二〇　鄕土に寄する言葉(錄音)東京農業大學教授農學博士加藤茂苞
▼後七、三〇　國民歌謠
▼後七、四〇　獨唱と合唱(京城より)朝鮮讃歌
▼後七、五〇　ラヂオドラマ「由利公正」藤田研二他
▼後八、三〇　講演「五箇條御誓文と共精神」德富猪一郎
▼後九、〇〇　義太夫「一谷嫩軍記」竹本小仙

かまぼこ
揚物
製造
お惣菜用、さつま揚、吉原揚……
天孫賓
平市一丁目　電話一四一番
◎配達員至急入用委細面談

眞冬の味覺
（とんかつ專門の店）
興亞の春を迎ひどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します。
平市仲田町(電話四六五)
かの家

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
◎時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月　隨時
卒業期間　四ケ月(高女卒程度)　十ケ月(小高卒程度)
◎卒業者の就職紹介は各方面と連絡をとり斡旋致します。
一、洋裁科
入學は毎月　隨時
卒業期間　本科　一ケ年　速成科　六ケ月
文部大臣認可
平陽女學校
(平市　電話四四五番)

外科、內科
花柳病科
內臟外科
入院隨意
市原醫院
平市田町大通(電話一一四)
看護婦及見習看護婦數名募集
月十圓以上廿五圓給與
此の外に勤務手當支給

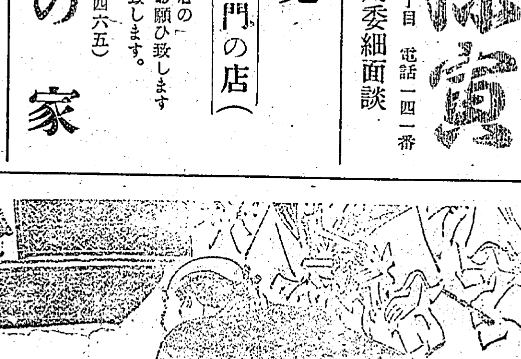
まついゆうけんでん 松井勇劍傳

第二十四回

行列と共に大津に

大納言[illegible]市兵衞を引見なされて　頓「[illegible]」　市「ヘーツ」　頓「[illegible]ぞ」　市「ヘーツ」　[illegible]のことでございます。　頓「今日天王寺門前にて[illegible]、それがため大勢の[illegible]いたしたる由[illegible]、[illegible]いたしたるぞ。[illegible]であるか、それとも[illegible]であるか」　市「ハヽツ[illegible]恐れ入りますれば[illegible]侍の[illegible]まで申上げます」　頓「イヤ苦しふない。直答[illegible]いたせ」　市「ハヽツ然らば一[illegible]申上げまつります」

[illegible]いたしますから[illegible]しますが[illegible]で市兵衞に於ては今日の[illegible]申上げ[illegible]めて申上げたる上、高[illegible]物との[illegible]の仔細[illegible]びに[illegible]元[illegible]、今日[illegible]物との[illegible]まで[illegible]なく御話し申上げましたとこ[illegible]



[illegible]市兵衞の武士らしき[illegible]に[illegible]遊ばし、頓「[illegible]天晴れなる振舞、武士にも[illegible]なくては叶はぬ、予が召抱へて遣はす[illegible]より[illegible]に遣はしてもよい」　市「有難き御諚に存じ奉る。見る影もなき小生を[illegible]臣下の端に御加へ下し置かれまするは家門の譽、身の面目此の上もござりません。然し[illegible]ら只今も申上げ奉りたる如く[illegible]主に戻り何れとも[illegible]致したる上に[illegible]には之無候へば、一旦[illegible]へ下[illegible]とは未だ主從の[illegible]相絶えた[illegible]て御答へ仕まつりたく」　頓「ウム有理である。して此れより何れへ參る」　市「一旦故鄕へ立戻りたく存じますれど、それも叶はねば江戶御屋敷まで罷り出で[illegible]主の御[illegible]元の[illegible]承知いたしたく存じ居りまする」　頓「左樣か、予も入府の途中なれば當地を出立いたすまではお供申付ける」　市「有難き仕合せ御供お許し下置かれますれば此の上もなき事に存じまする」　頓宜卿に於かせられては自分の供の中に加へておけば高臨[illegible]物の[illegible]するその[illegible]も近づくことが出來ないから[illegible]をけることもなかろうと[illegible]い

[illegible]から斯くはお供仰せつけられて、大阪へ御着いたすまでは紀州公の御供[illegible]に加はることになりました。[illegible]田九郎は其の[illegible]市兵衞の樣子を窺つて居りましたが、御供の中に加はつてゐては何うしても手出しが出來ない、切齒扼腕して口惜しがります。

此の田九郎が何故斯くまで高臨[illegible]物に味方するかと申しますると田九郎は下[illegible]の[illegible]州に[illegible]の[illegible]。高[illegible]臨物の父の代に仲間[illegible]をして居りました。然し彼には大阪[illegible]で[illegible]の親分々々と云はれる樣になつた丈の人物。何時までも仲間などしては居ない[illegible]をとつて大阪へ出たのが出世の始まり。今では[illegible]の田九郎と云つて押しも押されもせぬ親分になつて居ります。此の[illegible]を[illegible]つて高[illegible]臨物山形[illegible]の役に身を寄せ[illegible]細を打明けて市兵衞[illegible]上方へ參つた[illegible]、若し[illegible]つた時は無[illegible]劍術らしの[illegible]太刀をして[illegible]ひたいと頼みました。田九郎に於ては、何んと云つても[illegible]主の若[illegible]。それでなくても頼れゝば[illegible]に臨む町奴のこと故、宜しふございますそんなわけならお[illegible]太刀致しませうと我が家に[illegible]させ[illegible]いたのでありました。[illegible]らずも臨物は[illegible]に市兵衞の爲めに落命いたしましたので、改めて復讐でもしてやろうと其の場を去らず喧嘩をふつかけたが紀州公の御行列に妨げられた今度は市兵衞の出立するところを待つて討取らふと思つて[illegible]へて居ると、前記の如く、紀州公の御[illegible]なる有難い思召によつて大阪滯在中は其の御殿の元におかれる許りか、御供の中に加はつて市兵衞夫婦は出立いたしましたので[illegible]り逃してしまふことに相成りました。

偖て[illegible]州、御行列に加はつて[illegible]州大[illegible]の驛まで參りました市兵衞夫婦は餘り長く御供仕まつるも無躾、こゝまで來れば最う大丈夫と一旦お暇を願ひ上げましたるところ、頓宜卿には然らば江戶上屋敷へ訪ねよと有難き御言葉を賜り、厚く御禮申上げて御暇いたしました。

結婚すると暴君

福田雨江

結婚生活といふものはむづかしいもの殊に女が何かの職業をもつてゐるとか藝術家として世に立つてみたりする場合、いひされた事ではありますが、職業は職業と結婚生活とはほんとに兩立しがたいものだとしみ〴〵感じないわけにはまいりません。勿論女の方からいつても夫の職業なり、藝術家としての立場から理解するかしないか、要するに男の人によりけりともいへますが、でもそんな男の人はまあゐないといひ切つてもいゝやうな氣がします。

……

これは結局、男の人といふものは結婚生活に對してはごく普通の状態を望み、ひたすら夫の世話や家事につかへる妻を理想としてゐるからで、勿論これは無理のないことだとは考へるのですけど、といつて、夫の氣持、男の意志通りにのみ服從させて行かうとするだけでよいものでせうか。かういふことは或はよいわるいと一概にいへないことかも知れませんが、しかし現代の男性はもう、かうした妻に對する大きな抱擁力とか、またそのやうな妻をもつた場合の生活態度とでもいひますか、とにかくさうした場合の生活を素直にやつてゆけるやうな氣持、むづかしくいへばそのやうな寄與や感情の力などを持つてゐてもいゝと思ひます。皆とちがつて職業をもち、何かの形で自分の仕事を持たうとする女性は時代と共に一層多くなつて行くのですから、男の考へもこゝらで一應轉換しなければ、もう時代おくれになりはしないでせうか。

……

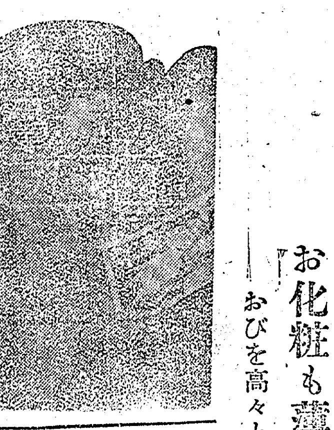
大體が、夫といふものはあまりに妻のサービスばかりを求めすぎはせんかしら。そのくせ、妻にサービスしてやらうなどゝは思ひもしないといふのですから、男は勝手だといはれても仕方がないでせう。戀愛時代は奴隷の如く、結婚してしまへば暴君の如しといひますが、殘念ながらまづそれが本當のやうです。せめて戀愛時代のあの氣持の半分でももちつゞけてくれたならと女はみんな思つてゐます。結婚した男の方に、そんな氣もちは持てないものでせうか。

……小ばなし……

「東京灣近くで英國汽船の不沈船には、さすがに日本中の輿論がばくはつしたやうだね」

「ハクハツするはずさ、船の名が淺間丸だもの」

女學校は出たけれど
制服ぬいで和服へ
お化粧も薄目に
―おびを高々としめるは醜い



おなじみのセーラー服にもいよいよお別れの時期が來ると、さすがに娘の感傷もわいて來るが、もう明日からは白粉を塗るのも自由、口紅も好き自由に塗られると、却て戸惑ひをおぼえるのも卒業生から嫁へ移る過渡期の娘心理であらう。既に人目につきやすい娘さんの身だしなみについて、森田たまさんから忌憚のない忠言をしていただくと――

：：

卒業出たてのお嬢さんは待ちかねたやうに和服を着るけれど、銀座あたりを歩いてゐる娘さんは高々と帶をしめて、しかもひの子の帶揚げを

・胸のところに

出してゐるのは、何だか窮屈みたいな感じがしてみつともないですね。帶をしめてその上に帶〆をしてしめるんですから、帶上げをたくさんのぞかせると胸がふくらしすぎます。矢張り帶の間にかくして置いた方がいゝでせう。着物は銘仙と云ふ處でせうが、近頃のやうな艶のないのは困りますね

・銘のゴリ〳〵した銘仙は實に丈夫でしわ一つ出ないけれど――あかう云ふ時局から、若い娘さんはお母樣のお古の着物に、千人針式の相良縫ひで出る處だけ

・大きい模樣を

着たらどんなものでせうか。今はもうそんな風も流行つてゐましたし、パーマネントは若い人にはどうしても必要なのでせうねそれに美容院へは色々流行などの勉強に行くのもいゝらしい。

兎も角側の髮の巣のやうにチリチリにして置くのはいやですわ。白粉等も卒業したからといつて急に眞白に塗るのもどうでせうか。

せい〴〵クリームに粉白粉をはたく程度で、頬紅もうすくすべて自然がいゝ、口紅は

・上も下もなく

眞紅に塗るのは口を大きく見せて巧なのでせうけれど、感心しませんね。ただ耳の所だけはきれいにしてほしいと思ひます。自分はよく見えないでせうが人目にはつくものですから、母親が注意して氣をつけてやるとよいと思ひます。

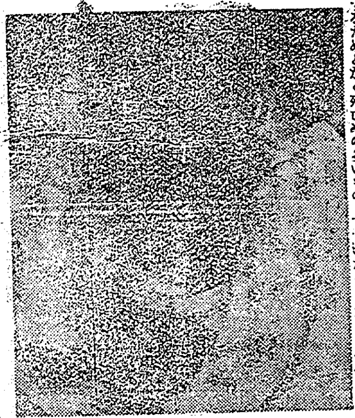
今まで學生服を着てゐたくせに和服を着てもドシンと横座りになるのなど一寸このごろに氣をつけていただきたいことですね

さうかといつてキチンと座る必要もないでせうけれど、人目につかぬやうに時々ソッと足を横に出す位の女の心づかひはほしいと思ひます。

お兄さん

お兄さんは無試驗で中學校へ入れた夢を見たんですとさ。むしけんといふから蛇、蛙、なめくじの虫けんかと思つたら、やつぱり試驗だの人物試驗があるんですとさ。お兄さんは一番目に「內閣總理大臣」の御名前をたづねられたのですつて。「むにやむにや」お兄さんが答へると試驗官が「よろしい」といつたのです「外務大臣は？」「むにやむにや」「よろしい」それで合格です。なぜつてあんまり近頃は大臣がかわるので試驗官も知らないからです。

死亡率の多い
盲腸炎の判斷
知らねばならぬ注意二三



盲腸炎を病んで死ぬことは絶對にないといはれてゐるのですが、手當をおくらしたり、無理をしたりするためとかく死亡率の多いもの注意すべきは姙婦の場合で殊に後期に入りますと、腸が上にもち上げられてゐますので[illegible]

[illegible]盲腸炎即ち[illegible]炎がありま す。これは疑はしいと思つたら直に外科の醫者に手術を受けるのが肝要で、早期に行へば（四十八時間以內）切開の局所も大きくて二週間ですみ、一週間から、十二、三日で完癒します。それが後れますと穿孔性腹膜炎になつて危險になるのです

ではどんな徴候の時に盲腸炎と判斷したらいゝか――簡單にできる自己診斷の方法を申しのべて見ませう

（一）……」

イ、始めは胃部に痛みを感じ、そのうち右下腹部が痛んできた場合――この右下腹部といふのは正確にいへばマックスバーネー氏點（臍と上前腸骨棘（腰骨の上部の突き出たところ）とを結ぶ中間のところがいたむのです。それからランツ氏點（左右の上前腸骨棘を結ぶ線を三分し、右より第一の點）が痛み出してくるのです、しかし必ず

……

ロ、熱は三十七度から三十九度まで出るのが普通です、惡感戰慄は甚しくないのが常例で、もし出たら惡性のものと診斷しなければなりません

ハ、嘔氣嘔吐を伴ひます

ニ、便秘にかたむきます（時には下痢と全然反對です）

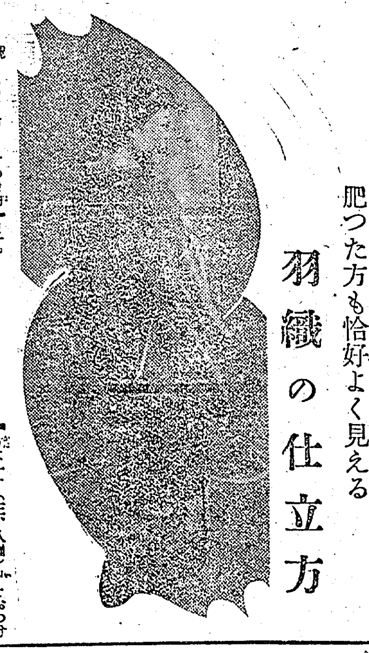
ホ、腹がはる氣もち（腹部膨滿感）がします、そして壓すといたみを感じます

（二）……」

これらは全部そろつて現れませんが、ふだん胃腸部が惡くないのに胃腸から下腹部へかけて强つてきていたみがあつたら、とにかく診斷を乞ふのがよいでせう、そして浣腸を行ふこと、もむこと、あたゝめることの三つは絶對に避けねばいけません

竹村文祥博士

どうしたらよいでせう
肥つた方も恰好よく見える
羽織の仕立方



（問）私は肥つて居りますので羽織の衿がつりまして衿の返りがいつも思ふやうにできません。前下りを多くして巾にも十分心を使つて縫つてゐるんですがうまくゆきませんどうしたらよいのでせうか（K・S子）

（答）どうも肥つた方はつくりをゆつたり見せた方がかへつておやせになつて見えます。

したがつて後巾は着物と同じかまたは八寸（三十糎二粍）以上の方でも一分（四粍）つめて仕立てます。

よく肥つた方は前下りを多くして下さいと御注文なさるやうですが、これは無意味でございます。どんなに肥つた方でも全體から見ますと、腰から下は小さいわけで肩で着るところを下りで補ふ必要はないのでございます。やはり肩の入用は肩の所で適當に處置なさる事が第一でございませう。

普通衣紋をお抜きにならない方でも、肥つた方は繰越を七分（二・七糎）以上又衣紋をお抜きになる方は一寸（三、八糎）以上おつけになつてヘラ付けなさることが大切です。

繰越しをきめますのに最も正確な寸法は着物をすきなやうにお召しになつて、肩山から衿の附根のつた所までの寸法を計ります。それに衿付けの縫代二分（〇、八粍）だけをひいた寸法を繰越寸法と定めます

次は衿付けの附け加減による事です。衿附けは肩明きの間から衿の所までゆるめ加減に約一分（四粍）位、その下は總體につりたりなく平にぬひ上げます。これだけの事でお仕立て願ひますれば衿の返りも、着た感じも、ピッタリとおちついて着よい羽織が出來上ります（吉崎家政女學院吉崎芳子氏）

……

◇和裁科 ◇割烹科
◇洋裁科 ◇手藝科
◇華道科 ◇長唄
◇茶道科 ◇琴
◇書道科 ◇マッサージ

大森花嫁學校

○學則要郵券三錢 ○入學資格學歷年齡不問
○願書受付及入學隨時
東京市大森區入新井三ノ三〇
（東京府認可） 吉崎家政學院
電話大森四四七一
（大森驛下車徒歩八分 浦田花園行バス イリヤマズ下）

御存じですか
葉書の秘密

ハガキの秘密 葉書には他見を憚ること柄を記すことの不利や失禮は誰しも心得てゐませうがハガキに書かれた事からの秘密が漏洩によつて漏洩する危險はないかといふと、これは信書の秘密として遞信係員の間には絶對に守られてゐますから、郵送中にその秘密がもれるといふことはありません。しかし、いつたん配達されてしまへば あとは受け取人側に於て保證しないかぎり開け放しです。なほ現在用紙を足す目的の手紙を小包とすることは禁じられてゐることはもちろんですが、小包の中に手紙を封入することも禁じられてゐます、ただし[illegible]

小名濱支局通信局

時局小說

驀進

士別一樹 作　北野傳 画

（禁上演映畫化）

鑛山（二）

鐵吉は一寸返事に困つてドギマギした。

まさかと思つてゐたらしい自分の戀へ炎やうとは思ひがけなかつたのである。

「それは本當ですか」

「そらもう眼の色を變へてるぞへッハヽヽ……」

「ハッヽヽ……」

皆はドッと笑つた。

鐵吉は苦笑しながら

「しかしあんな顏で働きものになりますかねえ」

「そ や君の仕込み次第さ、君の職際よろしきを得れば働き者になるだらうし、その反對なら結果も矢つ張り反對になつて現れるばかりだよ」

「だがね、一應留意して置くが、

服部のアザ傲が眼をつけてゐるらしいから氣をつけ給へ」

「……………」

アザ傲といふのは、この鑛山の鑛夫頭をしてゐる男で、皆から蛇のやうに恐れられてゐる喧嘩好きな男である、この男が北海道から流れて來てこの鑛山へ入つたのが今から七、八年も前の話で、その頃は好枝の死んだ父親が事務所から信用されて、この鑛山の鑛夫頭をつとめてゐたのであつた。

それがこのアザ傲が鑛山へ入つて來ると間もなくその本性を現して、酒さへ飲むと喧嘩なしに喧嘩を吹つかけるので、皆に嫌はれ段々敬遠されるやうになつた

背の高い顏のガッチリした處はいゝけれど、顏に大きなアザがあるので、皆では誰でも本名を呼ぶ者はなくアザ傲の名で通つてゐるのである。

その毛虫のやうな男に狙はれてゐると聞いて、鐵吉も心配にならざるを得なかつた。

鐵は好枝の居る叔父の與三の家をたづねてみる氣になつて、何時とは反對の方へ歩いて行つた。

山はもうすつかり暮れて、[illegible]

今好枝の居る家は、只一人の叔父の家で、この叔父も、元は矢つ張り此處で働いてゐたのであるが、腕を少し痛くしてからは、鑛山を離れ細々と暮してゐるのである。他に手の小さな雜貨ものを商なつて、身寄りとてない好枝は他所へ來るより他に行き場とてなかつた。

然し叔父の苦しい暮しを見、殊に父の死で一切の費用も出して貰つてゐるので、どうしてもまた東京へ、このまゝ行きたいとは云ひ出せないのであつた。

それにこの鑛山からも出征者が多く、女でもどんどん鑛山で働き、いゝ金になる事を人々が話してゐるのを聞くと、白粉をつけて男を相手にしてゐた今迄の生活に戻る氣もしなかつた。

そして鑛山へ入つて働く氣になつたのである。

このことを叔父に相談すると、叔父は笑つて

「お前のやうな娘では、鑛道へ入ることは出來まいよ、東京の地下鐵と違ふでなア」

「大丈夫よ叔父さん、私だつて土地つ子ですもの、そんな馬鹿にしたもんでもないわ」

「さうかな、だがお前のやうに綺麗な顏をしてると、男達が煩せえぞハッハッハ……」

「そんなこと平氣だわ、そんな男撥りとばしてやるわ」

「ハッハッハ……えらく元氣だなア、それぢや話してみるべえか」

與三は暫く事務所へ出かけて行つて、話をすると

「お前ん所の娘が山へ入つたら、男達仕事が手につくまいが」

「へへどうも、あれがどうしても鑛山で働かして貰ひたいといふんだから……」

「困つたもんだな、ハハハ……まア明日からでも寄こしてみるさ」

そして好枝は晴々鑛山で女鑛夫として働くこととなつたのであつた。

鐵吉が訪ねて行くと、其所にアザ傲も來てゐた

「ヤア北野さん、あんたの噂をしてゐた處だよ」

アザ傲はニヤニヤしながら[illegible]

天氣豫報

今晩は北西風

玉川村革新

[illegible]必らず現村長を排斥す[illegible]一服の淸涼劑を盛つて置いた、究竟する處に龍頭[illegible]るに銘刀を與へられた筈であるのに、現村長宮內[illegible]は其出殺を設つて居る[illegible]であるから村議たる以上は其尤も離鬪とする議入[illegible]が轡を並べて議案修正の誠を致さないのは甚だ村民に對して大[illegible]事が意義をなさない事に[illegible]質の長物と化したものであると斷ずるに憚からないのである。記者は勿論宮內村長の[illegible]

定價 一部金五錢 一ヶ月金五十錢 [illegible]

專門 花柳病科 …◇… 婦人科 產科 …◇…
▼入院隨意
◎見習看護婦募集
井坂醫院
平市田町 電話五五九番

時計と眼鏡
ラヂオ蓄音器
―レコード部―
◇…只今の流行歌…
白蘭の歌・愛染椿・淚の責任
金光堂時計店
平市五丁目 電話一九五番

齒科口腔外科
レントゲン科
院長 東京齒科醫學士 原 精一
原齒科醫院
電話三一一番 平市土橋通

鐵管代用 エタニツトパイプ

	耐壓封度	內經	一本ノ長サ	一本ノ價額	ボルト代ギ手代
D級	250	50ｍ/ｍ	3m	4.72	2.90
〃	250	75	3	6.97	3.50
B級	100	100	3	7.90	6.25
〃	100	150	4	17.70	9.20

平市仲町通り
山田文一商店
電話262番

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
和洋結髮
オゾン美顏術
御染港洗毛
御爪美術
◎御婚禮用の"かつら"も御座います。
平市 郵便局前
水野化粧院
電話 六七八（營業所） 五二五（自宅）

割烹
花村
平市田町 電話四番

他店で御氣に召さぬ時は是非一度
―常磐線東京仙臺間であらゆるクリーニング機械設備の揃つている―
純ドライクリーニング
西洋洗濯
平市田町 白榮舍ランドリー

正直なる仕事と優秀なる技術を望まるゝ方は
是非！設備平市第一の
白榮舍ランドリーへ

玉屋洋品店
平 田町通 電話六五六番

冬物は
是非！
當店から
（在庫豐富）

酵母さまに
榮養と食慾增進劑
肝鐵
—百四十日分 八、五〇
—一ヶ月分 二、二〇
—十五日分 一、二〇

肝鐵は……榮養劑として牛の臟器より製造したものでありますが……胃の惡い人……便通の不整な人に……從來の……酵母や胃腸藥に比較して……御話にならぬ程……よくきゝます……ふとる……ふとらぬ……と云ふ事は一、二ヶ月もせぬと現はれにくいものですが……立處に實に……ハッキリと……胃腸にきく……と云ふ事は何と云つても肝鐵の大きな強みで……きゝめ試みに服用して頂いて他の榮養劑の樣に……のわからぬ……と云ふ御叱りは、絶對にありません

阿康推選品
—效能—
胃カタル・消化不良・各病食慾不振・黃疸・膽石・膽管炎・神經衰弱・性慾減退・乳汁分泌不足・脚氣・綜合ビタミン缺乏症・新陳代謝障礙・夜盲性・小兒ノ發育不良・榮養不良・消化不良等惡性貧血・續發性貧血・內科婦人科出血后ノ貧血及急性慢性疾患、即チ呼吸器、血行器、傳染病等ニヨル貧血症、諸ノ增血劑トシテ治療ノ機轉テ速カナラシム又過度ノ疲勞後、重病回復期、早老防止等ニ卓効アリ
平市古鍛冶町（縣社石段下）
專賣所 アコー藥局
電話 四四
振替東京三〇〇六五番

春の紳士服
峰高最界紗絨
Refinetex
レファインテツクス
大崎屋洋服店
平市銀座通 電96

◎女車掌
（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

メガネは！
平市二丁目
玉屋

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タヒラ・ギンザ通り
グリル バツカス
電七〇二番

鈴木醫院
平市田町